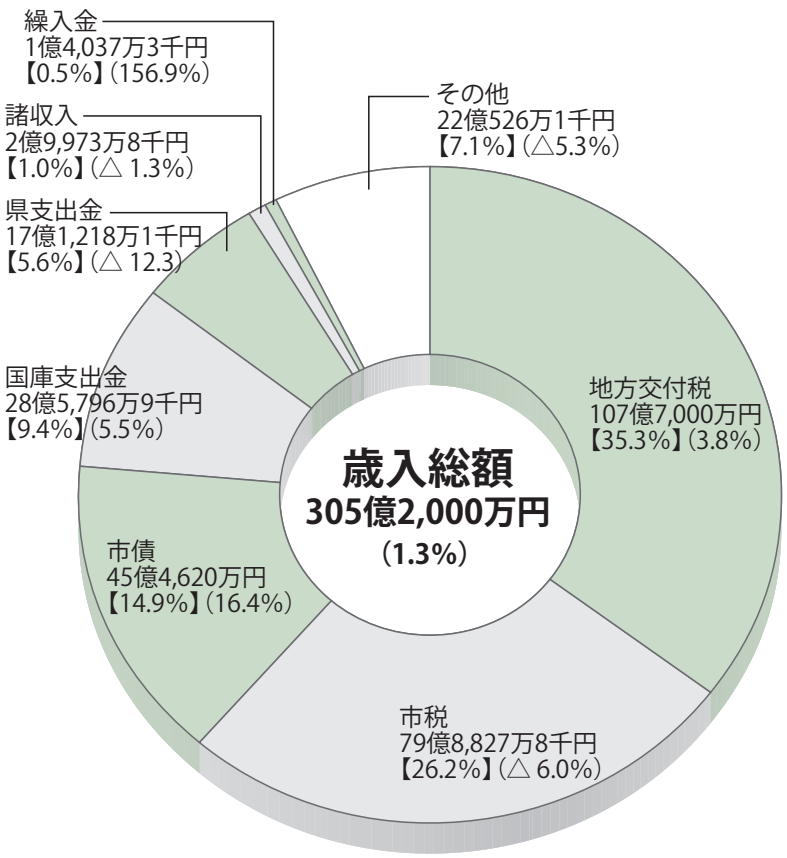
一般会計 | **4年連続前年度上回る** | **前年度比3億9千万円増**

305億2,000万円

予算総額522億747万9千円（一般会計・特別会計・公営企業会計を合わせたもの）



【用語解説　歳入】

地方交付税：地方公共団体が一定水準の行政サービスを提供できるように国が地方公共団体へ交付

市税：市民税、固定資産税など皆さんが納める税金

市債：資金調達のための長期借入金（市のローン）

国庫支出金：各種事業に対する国からの補助金など

県支出金：各種事業に対する県からの補助金など

一般会計　歳入

市税のうち個人市民税は、年少扶養控除の廃止により、約１億円の増収を見込んでいます。ただ、景気の伸び悩みなどから全体としては若干の増収となります。固定資産税では、評価替えの影響と七尾国家石油ガス備蓄基地の償却資産相当額の算定見直しにより、約５億円の大幅な減収となります。市税収入は対前年度比6.0％減の79億8,827万8千円の見込みです。市税の減収に伴い、普通交付税は同3.8％増の107億7,000万円を見込んでいます。

市債は、対前年比約６億円の増加となります。中でも、合併特例債の発行は、緊急防災情報告知システム、山王小学校建設事業（耐震化対策）などを進めるため、27億2,420万円を予定しています。

円グラフ内　【　】は構成比
（　）は前年度比

平成24年3月補正予算で行う主な事業（一般会計）

■和倉温泉振興積立基金積立金　1,000万円

和倉温泉まちづくりのための寄附金の積立

■国の平成23年度第４次補正予算対応　8,906万円

農業体質強化基盤整備促進事業費（ほ場の区画拡大、暗渠排水整備）など

■能登総合病院運営費　5,985万4千円

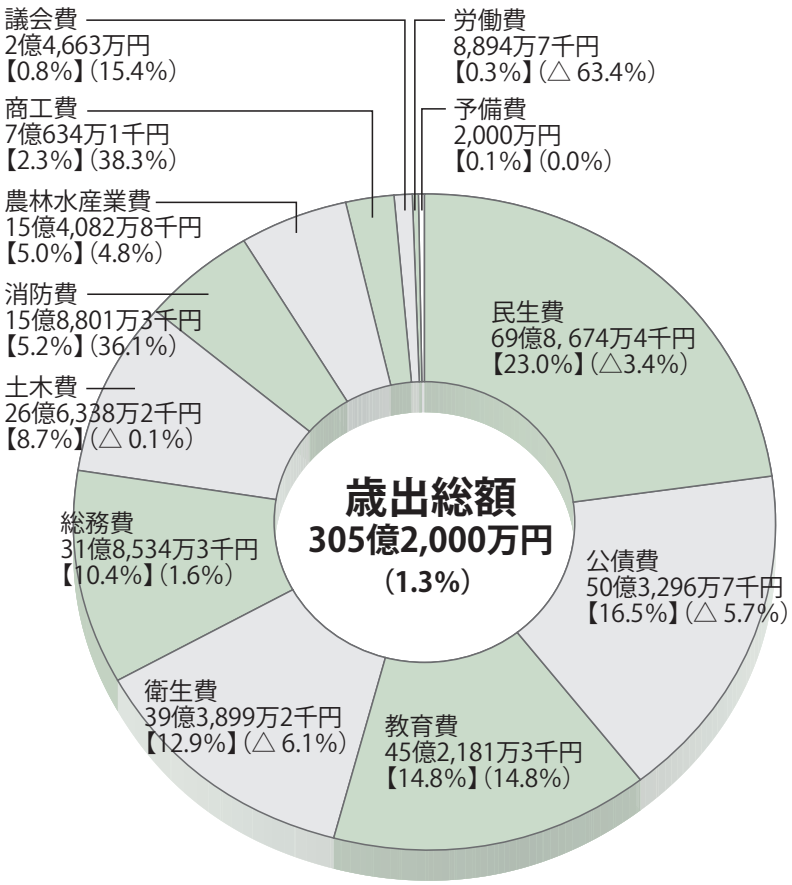
救命救急センター運営に係る交付税措置単価の改正による分担金の増額

平成24年度 予算のあらまし

一般会計　歳出

重点分野を「『元気な七尾』実現プラン2012」と位置づけ、「地域資源を活かした魅力ある七尾の発信」「七尾に誇りを持つ市民の育成」「安全安心で住みよい七尾づくり」を３本柱として、七尾市の将来像である「人が輝く交流体感都市」を目指します。七尾市総合計画の実現に向け、積極的に取り組みます。（※「『元気な七尾』実現プラン2012」の概要は、10ページから13ページをご覧ください）

税収が減少する中にあっても、市民の安全安心の確保を第一にとらえ、防災体制の充実（緊急防災情報告知システムの整備）を図るため、消防費が対前年度比36.1％増の15億8,801万3千円と大幅な伸びとなっています。また、引き続き学校施設などの耐震化にも取り組むため、教育費も同14.8％増の45億2,181万3千円となっています。



【用語解説　歳出】
民生費：児童・高齢者・障害者福祉、生活保護、福祉医療などに要する経費
公債費：市の地方債（ローン）を返済する元利償還金などの経費
教育費：学校教育や生涯学習の充実、文化・スポーツの振興などに要する経費
衛生費：各種健診、予防接種、環境保全、ゴミ処理などに要する経費
総務費：市の事務・庁舎管理、市民活動の推進などに要する経費

特別会計　188億5,009万2千円(5.9%増)

国民健康保険など特定の収入でその支出がまかなわれるもの

ケーブルテレビ事業特別会計	5億3,989万9千円 (24.9%)	公設地方卸売市場事業特別会計	9,764万6千円 (1.3%)
国民健康保険特別会計	68億9,538万4千円 (4.9%)	西岸財産区特別会計	11万8千円 (0%)
後期高齢者医療保険特別会計	7億3,161万9千円 (6.0%)	墓地公園事業特別会計	− (廃止)
介護保険特別会計	64億7,720万3千円 (6.2%)	分譲宅地造成事業特別会計	− (廃止)
簡易水道事業特別会計	3億5,798万4千円 (35.7%)	工業団地造成事業特別会計	− (廃止)
下水道事業特別会計	37億5,023万9千円 (3.5%)		

（ ）内は前年度比

公営企業会計　28億3,738万7千円(6.9減)

その仕事自体に収益があり、支出を収益でまかなっているもの

水道事業会計（公営企業会計）28億3,738万7千円(6.9%減)

（ ）内は前年度比